製品安全データシート

作成日:2012 年 07 月 06 日

1 化学物質等及び会社の概要

- **化学物質の名称**: シタロプラム
- **製品コード**: NET1039
- **会社名**:株式会社パーキンエルマージャパン
- **住所**:神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134　横浜ビジネスパークテクニカルセンター4F
- **電話番号**:045-339-5864
- **FAX 番号**:045-339-5874
- **緊急連絡電話番号**:同上
- **推奨用途及び使用上の制限**:試験研究用

2 危険有害性の要約

- **GHS 分類**:
  物理化学的危険性:該当区分なし
  健康に対する有害性:該当区分なし
  環境に対する有害性:該当区分なし

- **絵表示又はシンボル**:

- **注意喚起語**:危険
- **危険有害情報**:飲み込むと有害
- **注意書き**:
  【安全対策】取扱後は、手を洗う。
  　　取扱中に飲食しない。
  【応急措置】なし
  【保管】
  毒物及び劇物取扱取締法に従う。施錠して保管すること。
  【廃棄】
  内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
- **国／地域情報**:なし

3 組成及び成分情報

- **化学物質、混合物の区別**:混合物
- **組成・成分**
  シタロプラム(劇物)
  エタノール　約 100%

危険有害性化学物質は次の通り。

化学物質	CAS 番号	濃度
シタロプラム	59729-33-8	0.0006%

4 応急措置

吸入した場合:被災者を新鮮な空気の場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。

- **皮膚に付着した場合**：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を速やかに洗浄すること。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- **眼に入った場合**：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合ははずして洗うこと。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。
- **飲み込んだ場合**：気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。口をすすぐこと。

5 火災時の措置

- **消化剤**：粉末、泡、水噴霧、二酸化炭素
  燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する。
- **使ってはならない消化剤**：情報なし

6 漏出時の措置

- **人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**：個人用保護具を着用する。漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。
- **環境に対する注意措置**：製品が排水路に排出されないように注意する。
- **回収、中和**：漏洩物を掻き集めて空容器に回収する。

7 取扱い及び保管上の注意

- **取扱い**
  技術的対策：取扱は換気の良い場所で行う。適切な保護具を着用する。取り扱後は手や顔などをよく洗う。
  局所排気・全体排気：粉じんやエアゾールが発生する場合には、局所排気、全体換気を行う。
  注意事項：皮膚、眼および衣類との接触を避ける。
  接触回避などの安全取扱注意事項：
- **保管**
  技術的対策：容器を密栓して冷暗所に保管する。施錠して保管する。
  混融禁止物質：酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。
  保管条件：酸化剤から離して保管する。施錠して保管する。
  容器包装材料：法令の定めるところに従う。

8 暴露防止及び保護措置

管理濃度：設定されていない。

- **許容濃度（暴露限界値又は生物的措置）**：
- **設備対策**： 作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。取扱場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。
- **一般的予防対策及び衛生対策**：化学物質を取扱う際の一般的な注意事項を厳守する。飲食物を遠ざけ、休憩前及び作業終了後には手を洗う。
- **保護具**
  呼吸器の保護：自給式呼吸器、送気マスク等。
  手の保護：不浸透性の手袋。
  眼の保護：保護眼鏡（ゴーグル型）。状況により保護面。
  皮膚及び身体の保護具：不浸透性の保護衣、状況にお応じ保護長靴。
  衛生対策：

9. 物理的及び化学的性質

シタロプラム単一として

- **外観（物理的状態、形状、色など）**：無色の液体
- **臭い**：ほとんど無臭
- **pH**：
- **融点・凝固点**：
- **沸点、初留点及び沸騰範囲**：）
- **引火点**：
- **爆発範囲**：

- **蒸気圧**:
- **蒸気密度**:
- **比重(相対密度)**:0.79
- **溶解度**:
- **n-オクタノール／水分配係数**:
- **自然発火温度**:363℃
- **分解温度**:

10 安定性及び反応性

- **安定性**:通常の条件では安定である。
- **危険有害反応可能性**: 特別な反応性は報告されていない。
- **避けるべき条件**:
- **混融危険物質**:酸化剤。
- **危険有害な分解生成物**:一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、フッ素水素が生成する。

11 有害性情報

シタロプラム単一として

- **急性毒性**:ipr-rat LD:>10mg/kg
- **皮膚腐食性・刺激性**:あり
- **眼に対する重篤な損傷・刺激性**:あり
- **呼吸器感作性又は皮膚感作性**:おそらく有害
- **生殖細胞変異原性**: 情報なし
- **発がん性**:情報なし
- **生殖毒性**:情報なし
- **特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)**:情報なし
- **特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)**:情報なし
- **吸引性呼吸器有害性**:情報なし

12 環境影響情報

- **水生環境急性有害性**:情報なし
- **水生環境慢性有害性**:情報なし

13 廃棄上の注意

- **残余廃棄物**:
  放射性化合物を含む溶液の場合は、放射線障害防止法(法律第 19 条、施行規則第 19 条第 1 項)の技術上の基準に従い廃棄すること。
  関連法規お並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事の認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
- **汚染容器及び包装**
  容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
  日本アイソトープ協会の廃棄物区分に従って廃棄物容器に保管する。

14 輸送上の注意

- **国際規制**:
  海上規制情報:
  航空規制情報:
  国連番号:
  品名:シタロプラム
  国連分類:
  容器等級:

・**国内規制**:毒劇法の規定に従う。
陸上規制情報:
海上規制情報:
航空規制情報:

15 適用法令

＜シタロプラム＞
毒物及び劇物取締法　劇物（指定令第2条）
放射線障害予防法

16 その他の情報

本製品安全データシートにおいて提供されている情報は、当社の現在の知見に基づくものであり、公表日において正しいと信じております。但し、その正確性及び完全性に関しては、いかなる表示をも行うものではありません。それは、ガイダンスとして意図されているに過ぎず、保証又は品質規格とみなされるべきものではありません。全ての化学物質は未知の危険性を含むおそれがあり、注意して取り扱わなければなりません。特定の危険性については記載されますが、存在する危険性はそれに限定されることを保証することはできません。PerkinElmer, Inc は、本製品の取扱又は接触に起因する損害につき責任を負いません。

PerkinElmer
For the Better

製品安全データシート

作成日:2012 年 07 月 06 日

1 化学物質等及び会社の概要

- **化学物質の名称**: エタノール(含有量:約 100%)
- **製品コード**: NET1039
- **会社名**:株式会社パーキンエルマージャパン
- **住所**:神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークテクニカルセンター4F
- **電話番号**:045-339-5864
- **FAX 番号**:045-339-5874
- **緊急連絡電話番号**:同上
- **推奨用途及び使用上の制限**:試験研究用

2 危険有害性の要約

- **GHS 分類**:

物理化学的危険性:引火性液体 区分2		
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	区分1A
	特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	区分3(気道刺激性、麻酔作用)
	特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	区分 1(肝臓)、区分2(中枢神経系)

- **絵表示又はシンボル**:

- **注意喚起語**:危険
- **危険有害情報**:
  引火性の高い液体及び蒸気
  眼刺激
  生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
  呼吸器への刺激のおそれ
  眠気やめまいのおそれ
  長期にわたる、又は反復暴露により肝臓の障害
  長期にわたる、又は反復暴露により中枢神経系の障害のおそれ
- **注意書き**:
  【安全対策】
  熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙
  容器を密閉しておくこと。
  静電気的に敏感な物質を積みなおす場合、容器を接地すること、アースを取ること。
  防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
  火花を発生させない工具を使用すること。
  静電気放電に対する予防措置を講ずること。
  適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
  取扱後はよく手を洗うこと。
  使用前に取扱説明書を入手すること。
  すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
  適切な個人用保護具を使用すること。
  ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
  この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

【応急措置】
皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
火災の場合には適切な消火方法を取ること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して行うこと。
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当を受けること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
吸入した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
【保管】
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

- **国／地域情報**：なし

3 組成及び成分情報

- **化学物質、混合物の区別**：混合物
- **組成・成分**

シラロプロム 0.0006%（劇物）
エタノール 約 100%（労働安全衛生法該当）

危険有害性化学物質は次の通り。

化学物質	CAS 番号	濃度
エタノール	64-17-5	約 100%

4 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

- **皮膚に付着した場合**：直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当を受けること。
- **眼に入った場合**：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- **飲み込んだ場合**：口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。

5 火災時の措置

- **消化剤**：水噴霧、対アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
- **使ってはならない消化剤**：棒状放水
- **特有の危険有害性**：加熱により容器が爆発するおそれがある。極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。消火後再び発火するおそれがある。火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

6 漏出時の措置

- **人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**：全ての着火源を取り除く。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立ち入りを禁止する。密閉された場所に立ち入る前に、十分な換気を行う。
- **環境に対する注意措置**：環境中に放出してはならない。
- **回収、中和**：不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
-

7 取扱い及び保管上の注意

・**取扱い**
技術的対策:「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体排気:「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
注意事項:熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
取扱後はよく手を洗うこと。使用前に使用説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまでは取り扱わないこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。眼に入れないこと。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
接触回避などの安全取扱注意事項:「10. 安定性及び反応性」を参照

・**保管**
技術的対策:消防法の規制に従う。
混融禁止物質:「10. 安定性及び反応性」を参照
保管条件:容器を密閉して冷乾所にて保存すること。熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から離して保管すること。禁煙。
容器包装材料:情報なし

8 暴露防止及び保護措置

・**許容濃度(暴露限界値又は生物的措置)**:
エタノール:管理濃度　未設定
日本産業衛生学会(2009 年版)　未設定
ACGIH(2009 年版):STEL　1,000ppm

・**設備対策**:　この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。暴露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。

・**一般的予防対策及び衛生対策**:化学物質を取扱う際の一般的な注意事項を厳守する。

・**保護具**
呼吸器の保護:適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護:適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護:適切な保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具:適切な保護衣を着用すること。
衛生対策:作業終了後には手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

エタノール単一として

・**外観(物理的状態、形状、色など)**:無色の液体
・**臭い**:刺激臭
・**pH**:情報なし
・**融点・凝固点**:−114.5℃
・**沸点、初留点及び沸騰範囲**:78.32℃
・**引火点**:13℃
・**爆発範囲**:3.3～19%
・**蒸気圧**:59.3mmHg(25℃)
・**蒸気密度**:1.59
・**比重(相対密度)**:0.7893g/cm^{3}(20℃/4℃)
・**溶解度**:水と混和する。殆どの有機溶剤と混和
・**n-オクタノール/水分配係数**:log　Pow=−0.31(EXP)
・**自然発火温度** 422.78℃
・**分解温度**:情報なし

10 安定性及び反応性

・**安定性**:法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
・**危険有害反応可能性**:次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し、火災や爆発の危険を

もたらす。硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

- **避けるべき条件**:情報なし
- **混融危険物質**:次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニア、硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤
- **危険有害な分解生成物**:情報なし

11 有害性情報

エタノール単一として

- **急性毒性**:ラットの LD50 値、6200-15000mg/kg bw
- **皮膚腐食性・刺激性**:ウサギ LDL0=20,000mg/kg(SIDS 2009)
- **眼に対する重篤な損傷・刺激性**:ウサギを用いた Draize 試験において中等度の刺激性と評価され、適用後1～3日目に角膜混濁、虹彩炎、結膜発赤、結膜浮腫が認められた。
- **呼吸器感作性又は皮膚感作性**:情報なし
- **生殖細胞変異原性**: 情報なし
- **発がん性**:分類できない
- **生殖毒性**:エタノールに関する疫学情報から、一定量以上が生殖毒性を誘発する。
- **特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)**: ヒトに吸入暴露した試験で、昏睡、傾眠、軽度の麻痺が観察されている。(ACGIH 2001)。また、エタノール摂取による急性の毒性影響は中枢神経系の障害であると記載され(DFGOT Vol.12 1999)、重度の中毒では筋失調、霧視、複眼、昏迷、低体温、吐気、嘔吐、痙攣などが見られる。
- **特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)**:ヒトでアルコールの長期大量摂取はほとんどすべての器官に悪影響を及ぼすが、最も強い影響を与える標的器官は肝臓であり。障害は脂肪変性に始まり、壊死と線維化の段階を経て肝硬変に進行する(DFGOT 1996)
- **吸引性呼吸器有害性**:情報なし

12 環境影響情報

- **水生環境急性有害性**:区分外
- **水生環境慢性有害性**:区分外

13 廃棄上の注意

- **残余廃棄物**:
  廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害レベルを低い状態にする。関連法規お並びに地方自治体の基準に従うこと。
- **汚染容器及び包装**
  容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

- **国際規制**:
  海上規制情報:IMO の規定に従う。
  航空規制情報:ICAO/IATA の規定に従う。
  国連番号:1170
  品名:エタノール
  国連分類:3
  容器等級:II
- **国内規制**:消防法の規定に従う。
  陸上規制情報:船舶安全法の規定に従う。
  海上規制情報:
  航空規制情報:

15 適用法令

＜エタノール＞

労働安全衛生法：

- 危険物引火性の物(施行令別表第 1 第 4 号4の3)
- 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の2、施行令第 18 条の2第9)（区分内番号:61）

消防法　第 4 類引火性液体、アルコール類(法第 2 条第7項危険物別表第1・第4類)（区分内番号:3）

16 その他の情報

本製品安全データシートにおいて提供されている情報は、当社の現在の知見に基づくものであり、公表日において正しいと信じております。但し、その正確性及び完全性に関しては、いかなる表示をも行うものではありません。それは、ガイダンスとして意図されているに過ぎず、保証又は品質規格とみなされるべきものではありません。全ての化学物質は未知の危険性を含むおそれがあり、注意して取り扱わなければなりません。特定の危険性については記載されますが、存在する危険性はそれに限定されることを保証することはできません。PerkinElmer, Inc は、本製品の取扱又は接触に起因する損害につき責任を負いません。